



2011年8月5日

お客様向け資料

BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

2011年8月4日のブラジル株式市場の値下がりについて

市況概況：

2011年8月4日のボベスパ指数は、2008年11月以来の大幅安（ボベスパ指数が前日比5.7%安）で引けました。急落の背景には、欧州ソブリン債や米国の累積債務に対する危機感から世界的な景気の減速懸念が高まったとの観測などリスク回避の動きが強まっていることが挙げられます。

その結果、ブラジルも資源株を中心に大きく売られています。特に、本日（8月5日）発表の米国雇用統計で、失業率が低下するほどの雇用創出は期待できないとの観測から米国株が急落、ブラジルの株式市場も売り圧力が増えています。

尚、本日（8月4日）のボベスパ指数の下落率は、世界20ヶ国の株式市場で最大の下落率となりました。

原油先物価格（WTI）は、期近先物（9月限）が前日比5.1ドル安の1バレル=86.83米ドル（出所：ロイター）、商品もCRB指数が続落し、前日比2.8%安の327.97で取引を終えています。

4日のブラジル市場で株価の下落が特に目立ったのがエネルギー株で、石油株のペトロブラスは前日比7.4%安と2008年12月以来の安値を記録したほか、MMXミネラサン・エ・メタリコスも16.1%安と大きく値を下げています。

鉄鋼株も2011年第2四半期の業績が冴えないことを背景に売られ、ナショナル製鉄が8.1%安、ジェエルダウも7.4%安と大幅安で引けています。

金融株も個人の不良債権が増えていることを懸念し昨日の大幅安に続いて本日も続落しています。

与信縮小の影響や利上げに伴う借入れコストの上昇で、住宅関連株もシレラの7.2%安を筆頭にMRVが7.5%安、PDGも9.0%安で取引を終えています。

また、大手格付け会社のムーディーズ・インベスターズ・サービス社がブラジルの航空会社「ゴル」の格付けを引き下げたことで、タムやゴルなどの航空会社株は昨日に続いて全面安となっています。

一方為替市場では、通貨レアルは株価指数に比べて堅調で1米ドルに対して1.5879レアルの小幅安で推移しています。（8月5日午前10時24分現在）。

本資料は、BNPパリバアセットマネジメントブラジルが作成した資料をもとに、BNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解を提供することを目的として、2011年8月5日に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できると思われる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。



今後の見通し

2010年のブラジル経済はGDP成長率7.5%成長を達成し、2011年も好調な内需を背景に、堅調を持続していましたが、インフレ懸念が台頭しており、年初来5回の政策金利の引き上げが行われました。ブラジルの6月鉱工業生産は、前月比-1.60%、前年同月比+0.90%と市場予想を下回りました。7月のPMI指数も前月比2.45%低下の47.8となり、2ヶ月連続して景況感の分かれ目とされる50を下回るなど、足元のブラジルの経済の成長率は鈍化していると見られます。

ただ、2008年後半のリーマンショック以降の株価の下落局面と比較してみると、ブラジル通貨レアルが堅調に推移していることが今回はプラスの材料として考えられます。

ブラジルは、国内景気の過熱に伴うインフレ懸念を抑えるため、金融引き締めをいち早く実施しており、他国に比べていち早く金融緩和政策への転換に踏み切れる体制にあると考えられます。

足元のインフレ（拡大消費者物価指数）は政府目標を上回っていますが、今回の商品価格の調整で2012年にはインフレも+4.5%±2%の目標圏内に収斂するとしているほか、株価水準もPERで約8.2倍（出所はブルムバーグ）と割安で、国際的なイベントも控えており、引き続き、中長期的な経済成長が期待されています。

ブラジルの株式市場は今後も欧米の景気動向を睨みながら値動きの粗い展開が予想されます。ただ、ブラジル経済や企業業績が前年比でマイナス成長などの大幅に減速するとは予想されません。今後とも慎重な運用を継続してまいります。

ただ、米国が再びリセッション（景気後退）入りする恐れがあるとの懸念や、欧州債務危機がイタリアやスペインに波及しつつあるのとの懸念等、海外要因による影響を受けると考えられるほか、足元では国内景気や企業業績に減速感が見られることから、当面はブラジル市場に対して、慎重な見方をしております。

※ 上記のコメントは、本書面作成基準日のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

本資料は、BNPパリバアセットマネジメントブラジルが作成した資料をもとに、BNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解を提供することを目的として、2011年8月5日に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。